

<b>授業科目名</b>	道徳教育の指導法 B (中等) (2100232)		
<b>時間割名</b>	道徳教育の指導法 B (中等) (51108)		
<b>時間割担当</b>	増井眞樹		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	2 選択
<b>曜日・時限</b>	金・1		

### 授業の目標・概要

いじめ問題解決のさなかに、道徳の教科化の提言があった。「命の尊さ」「規範意識」「責任感」といった人間性の構築が重要であり、人間としてどう生きるかを指導することが中学校における道徳教育の課題である。本授業では、中学校の教員として確実に道徳教育の実践を行うために必要な指導力を育成することをめざす。

### 学習の到達目標

道徳教育とは何かを学び、道徳教育の全体計画・年間指導計画作成、指導案作成、模擬授業を実際に行い、道徳教育の実践に必要な指導力を身につける。また、自ら考え判断し行動できる人間力の向上を図るとともに、多感な思春期における生徒の心に響く授業を展開できる中学校教員の資質を養う。

### 授業方法・形式

1. それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
2. 必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。
3. 模擬授業をはじめとする発表の機会を設定する。

### 授業計画

- 第1回 授業ガイダンス・道徳教育の歴史  
世界及び日本の道徳教育、学習指導要領における道徳教育の変遷を学び、道徳教育の意義を理解する。
- 第2回 道徳教育の目標・内容  
指導要領に示されている道徳教育の目標・内容を学び、それらが生活全般に関わっていることを理解する。
- 第3回 道徳教育の全体計画・年間指導計画  
学校・学年の年間指導計画の意義を理解し、具体的に学級の指導計画を立てる。
- 第4回 道徳授業方法（道徳的価値の伝達）  
道徳的価値の伝達を目的とする授業実践から授業方法を学ぶ。
- 第5回 道徳授業方法（モラルジレンマ）  
モラルジレンマ教材を使用し、話し合い活動を核とした授業方法を学ぶ。
- 第6回 道徳の資料分析（道徳的価値）  
資料分析を通して、内容項目の指導に適した資料の選択方法を理解する。
- 第7回 指導案作成（展開部以外）  
指導案の意義と形式や内容を学ぶ。
- 第8回 指導案作成（展開部）  
展開部分の書き方を学び、実際に作成する。
- 第9回 模擬授業 指導案を検討し、模擬授業演習を行う。
- 第10回 模擬授業 前回の模擬授業の課題解決を図り模擬授業演習を行う。
- 第11回 生徒理解と道徳の授業（エンカウンター、SST）  
児童を取り巻く現況を理解し、指導内容や指導方法の工夫について学ぶ。
- 第12回 道徳教育における評価  
道徳教育における評価について学び、今後のあり方と課題について理解する。
- 第13回 全教育活動における道徳教育 学校全体で行われている道徳教育について学ぶ。
- 第14回 家庭地域との連携と道徳教育 家庭地域における道徳教育および連携について学ぶ。
- 第15回 授業の総括 道徳の時間を中心にして、課題を明らかにして、その解決方法を探る。

### 成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく。（30%）また、模擬授業や指導案作成における実践力を評価する。（30%）さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する。（40%）

### 授業時間外の課題

予習として、中学校学習指導要領解説や配布の補助資料を読んで内容を把握し、課題を明確にしておく。復習として学習のポイントを整理しておく。また、日ごろから道徳の副読本等に目を通したり、身の周りにある自身の心に響く教材を選んだりしておき、指導方法についても検討しておく。

### メッセージ

### 教材・教科書

テキスト：中学校学習指導要領解説「総則編」文部科学省、平成20年9月、株式会社ぎょうせい  
中学校学習指導要領解説「道徳編」文部科学省、平成20年9月、日本文教出版

### 参考書

参考書：授業中に指示する